

Ⅲ． 2021年度会計決算報告

2021年度 会計報告

総 括

一般会計、事業特別会計を合計して、収入額は15,062,179円となり、昨年度決算比で702,896円の減少となりました。支出は14,779,372円となり、昨年度決算比で636,599円の減少となりました。2022年度への繰越金は282,807円となりました。

1. 預金及び出資金報告

預金及び出資金は口数・金額とも増えておりません。

2 一般会計について

(1) 収 入

- ① 組合費は、組合員数延2654人、昨年度決算比で185,790円の減収でした。
- ② 特別組合員費は昨年度決算比で3000円増、加入人数は9名でした。
- ③ 特区連交付金は、昨年度決算比で40,940円の減収でした。
- ④ 第2ブロック交付金は、今年度会計での交付が間に合わず、次年度会計で処理をすることとなりました。
- ⑤ 繰入金は、新型コロナウイルス感染症の影響により行事等が開催出来なかったため、基金取り崩しを実施しませんでした。

(2) 支 出

- ① 特区連組合費は、組合員の減少により昨年度決算比で240,360円の減少でした。
- ② 機関運営費は、新型コロナウイルス感染症の影響により定期大会を書類開催としたことで定期大会費は減少しましたが、執行委員会費が前年度未処理であった費用を処理したことから、昨年度決算比で35,060円の増加となりました。
- ③ 交付金は、分会費の一部が次年度処理となることに伴い、昨年度決算比で

５６２，０００円の増加となりました。

- ④ 事務諸費は、行事・会議の縮小に伴う紙代の減少、備品の未購入に伴い、昨年度決算比で１７７，７９４円の減少となりました。
- ⑤ 組織費は、メーデーがweb配信となったことで、区職労としては現地参加を見送ったことによりメーデー費が減少しました。旗びらき費は、既購入の図書カードが不足したため、新規購入をしました。昨年度決算比で４１，５６４円の減少でした。
- ⑥ 教育宣伝費は、闘争資料費が増加して、昨年度決算比で１２３，１９３円の増加でした。
- ⑦ 共闘渉外費は、各種団体がコロナ禍でも少しずつ動き出したことによって分担金が増加したことに伴い、６，６１０円の増加となっています。

２ 事業特別会計について

（１）収 入

- ① 掛金は、都区職員共済会への掛金となっていて、慶弔祝金の一部原資となっています。組合員数をベースに計算するため、昨年度決算比で５７，４００円の減少でした
- ② 手数料は、労金出資配当金について労金事務手数料費から雑収入に科目変更したことに伴い、昨年度決算比で４０１，７４９円の減少でした。
- ③ 雑収入は、労金出資配当金について労金事務手数料費から雑収入に科目変更したことに伴い、昨年度決算比で３９７，９６３円の増加でした。

（２）支 出

- ① 事業費は、３年連続で退職者セミナーが開催出来なかったため、昨年度決算比で２６０，０００円の減少となりました。
- ② 職員費は、三上書記が３月３１日付で退任し、４月１日付で東坊城委員長が書記に就任して週５日の勤務となったことに伴い、昨年度決算比で７０９，４１４円の増加となりました。